

●調査レポート

第72回 埼玉県内企業経営動向調査－2010年7～9月期－

調査対象：県内企業 575 社

調査方法：アンケート方式（8月上旬 郵送回収）

回答企業：298 社（回答率 51.8%）

業種別内訳：製造業 165 社 非製造業 133 社

調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

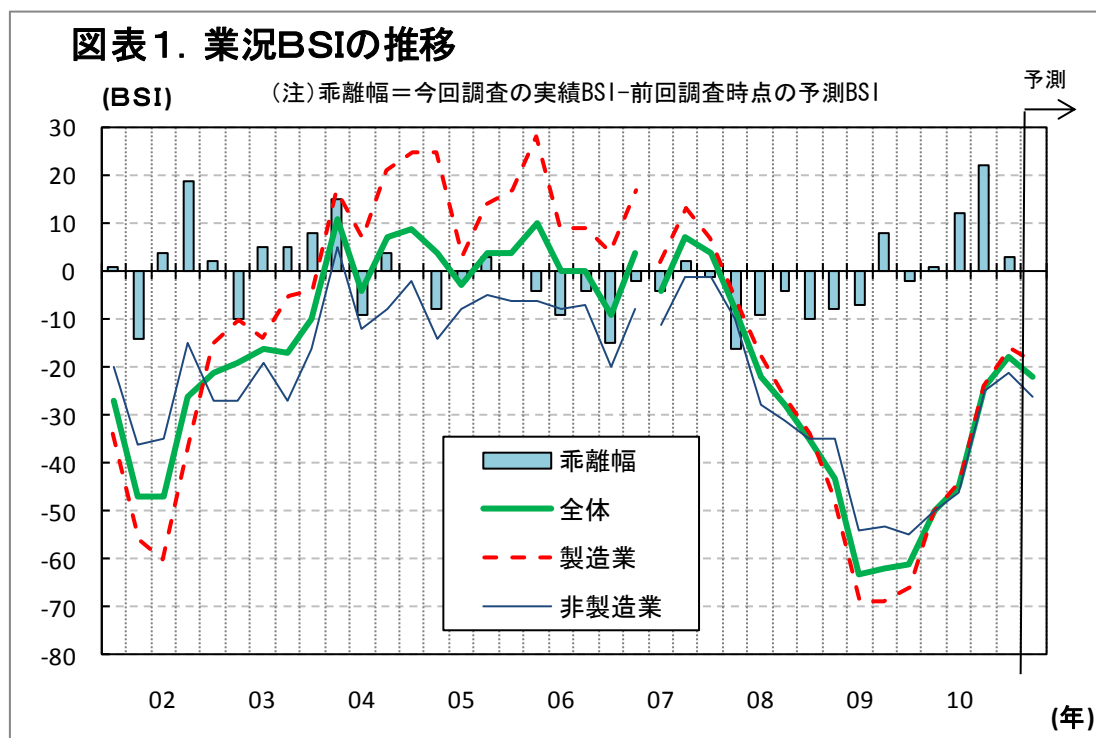
<概況>

県内企業の業況感は引き続き持ち直している。今回調査(7～9月期)の業況判断 BSI は-18 と、前回(4～6月期)に比べ6ポイント改善、09年4～6月期以降6四半期連続の持ち直しとなった。今回調査の特徴を規模別に見ると、「規模の小さい企業」(従業員100人未満)は若干後退している一方、「規模の大きい企業」(従業員100人以上)は「悪い」超幅が大きく縮小しており、そのうち特に製造業は-23 から1へとプラスに転じている。

業種別に見ると、製造業は、薄型テレビ、パソコンなどの海外を中心とした需要拡大による販売(受注)数量の回復などを主因に加工組立型の電子部品・デバイス、精密機械のほか、猛暑に伴う需要の増加などから生活関連型の飲食料品で、それぞれ業況感が回復している。非製造業でも小売業は、自動車販売がエコカー補助金期限切れ前の駆け込み需要から販売(受注)数量が回復していることに加え、スーパーなどでも猛暑効果もあって、業況感が持ち直している。

先行き(10～12月期)の業況判断 BSI は-22 と、規模別、業種別にかかわらず総じて若干後退する見通しとなっている。

以上のように、県内企業の業況感は、海外需要の増加やエコカー補助金による需要などから引き続き持ち直している。先行きの業況感は、海外需要の停滞や円高による輸出の減少懸念、エコカー補助金の終了に伴う自動車販売の反動減などから、幾分慎重な見方が窺われる。



(注)2007年1～3月期調査から調査対象企業の見直しを行ったことから、2006年10～12月期以前と2007年1～3月期以降の数値は連続しない。

1. 業況判断BSI（「良い」－「悪い」） ～引き続き持ち直し～

今回調査の業況判断BSIは改善が続き、足元の県内企業の業況感は引き続き持ち直している。

製造業では、規模の大きい企業が大きく改善し、プラスに転じている。特に、前回までは輸送用機械の改善が顕著であったが、今回はその他の加工組立型業種や飲・食料品が大幅に改善している。一方で素材型の業種では、一部の業種で後退している。非製造業では、小売を主体に全体として緩やかに持ち直している。

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2009年				2010年				2010年 10～12月 (見通し)
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	前回予想	
全体	-63	-62	-61	-50	-45	-24	-18	-21	-22
100人未満	-58	-64	-63	-54	-52	-28	-32	-26	-33
100人以上	-68	-59	-58	-46	-37	-19	-3	-14	-10
製造業	-69	-69	-66	-51	-44	-24	-16	-19	-19
100人未満	-61	-69	-71	-51	-49	-24	-30	-22	-29
100人以上	-77	-69	-60	-50	-38	-23	1	-16	-7
素材型	-66	-70	-63	-39	-35	-21	-28	-11	-24
木材・木製品・家具	-63	-100	-100	-67	-60	-50	-50	-50	-71
パルプ・紙・紙加工品	-50	-70	-58	-20	-44	-9	-29	27	0
化学・石油製品・プラスチック・ ゴム製品	-57	-36	-42	-19	-40	-27	-23	-18	0
窯業・土石	-56	-60	-80	-57	-60	-33	-33	-17	-33
鉄鋼・非鉄金属	-92	-82	-91	-85	-45	-25	-15	-17	-38
金属製品	-77	-90	-44	-17	0	14	-18	-7	-18
加工組立型	-89	-88	-78	-63	-55	-22	-2	-20	-16
一般機械器具	-80	-88	-71	-62	-72	-53	-21	-47	-29
電気・情報通信機械器具	-92	-93	-63	-50	-60	-23	-8	-23	-17
電子部品・デバイス	-100	-92	-100	-86	-67	-11	10	0	10
輸送用機械	-100	-90	-91	-55	-31	8	0	0	-31
精密機械	-75	-73	-82	-73	-29	-18	14	-20	-7
生活関連型	-42	-38	-53	-53	-46	-39	-23	-30	-13
飲・食料品	-29	-17	-43	-25	-33	-23	8	-8	15
印刷・同関連業	-58	-58	-80	-100	-67	-60	-67	-60	-50
その他製造業	-38	14	0	-33	-13	-14	0	-43	-14
非製造業	-54	-53	-55	-50	-46	-25	-21	-22	-26
100人未満	-53	-58	-53	-58	-57	-33	-34	-32	-37
100人以上	-54	-47	-57	-39	-34	-15	-8	-11	-15
建設	-50	-76	-71	-55	-68	-52	-52	-64	-54
住宅建設	-71	-29	0	-25	9	18	9	18	-9
卸売	-55	-47	-55	-69	-47	-42	-25	-42	-10
小売	-65	-52	-74	-65	-45	-19	0	-10	-27
運輸・倉庫	-44	-59	-57	-38	-53	-13	-25	-7	-19
不動産	-62	-58	-44	-33	-38	-20	0	0	-25
その他非製造業	-32	-44	-53	-41	-45	-17	-27	-17	-23

2. 売上（生産）高BSI（「増加」－「減少」） ～業種、規模の如何を問わず改善～

製造業では、加工組立型を中心に総じて改善している。非製造業でも小売が大きく持ち直しており、全体では08年1～3月期以来のプラスとなった。

図表3 業種別規模別売上(生産)高BSI

	10年1～3月期	10年4～6月期	7～9月期	10～12月期(見通し)
全体	-16	-6	14	3
製造業	-16	3	20	6
非製造業	-16	-18	8	0
規模の小さい企業	-28	-17	5	6
規模の大きい企業	-3	7	24	1

3. 経常利益BSI（「増加」－「減少」） ～規模の大きい企業を中心に持ち直し～

製造業では加工組立型を中心に総じて持ち直しつつあるが、非製造業では特に小売の回復が目立っている。先行きについては、「増加」とする企業と「減少」とする企業が拮抗する見通し。

図表4 業種別規模別経常利益BSI

	10年1～3月期	10年4～6月期	7～9月期	10～12月期(見通し)
全体	-18	-14	6	0
製造業	-18	-9	9	0
非製造業	-19	-21	2	0
規模の小さい企業	-33	-23	-2	1
規模の大きい企業	-3	-4	14	-1

4. 海外需要BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の加工組立型で増加～

製造業の中でも加工組立型の一般機械、電気・情報通信機械器具が増加している。先行きは、海外需要の停滞、円高の進行による減速が懸念されている。

図表5 海外需要BSI

	10年1～3月期	10年4～6月期	7～9月期	10～12月期(見通し)
全体	8	9	15	10
製造業	14	12	20	13
非製造業	-8	2	2	2
規模の小さい企業	3	11	13	6
規模の大きい企業	13	8	16	13

5. 生産（販売）設備 BSI（「過大」－「不足」）～「過大」超幅が僅かに縮小～

ほとんどの業種が依然「過大」超となっているが、製造業では化学等が「不足」超となるなど「過大」超幅は縮小している。

図表6 生産(販売)設備 BSI

	10年1～3月期	10年4～6月期	7～9月期	10～12月期(見通し)
全体	14	9	6	9
製造業	23	16	6	11
非製造業	0	0	6	6
規模の小さい企業	13	7	5	6
規模の大きい企業	15	12	8	11

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」）～「過剰」超幅が大幅に減少～

製造業は「過剰」超幅が縮小し、非製造業では小幅ながら「不足」超に転じている。

図表7 雇用人員 BSI

	10年1～3月期	10年4～6月期	7～9月期	10～12月期(見通し)
全体	13	14	2	3
製造業	24	19	6	8
非製造業	-2	6	-3	-3
規模の小さい企業	16	13	3	-1
規模の大きい企業	10	14	1	7

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」）～改善傾向が明確化～

徐々に改善が進み、全体として「楽」超に転じた。ただし、先行きについては、やや慎重な見通しとなっている。

図表8 資金繰り BSI

	10年1～3月期	10年4～6月期	7～9月期	10～12月期(見通し)
全体	-5	-4	4	-1
製造業	-3	-1	9	5
非製造業	-8	-7	-2	-9
規模の小さい企業	-10	-9	1	-3
規模の大きい企業	2	2	9	1

(以上)